

## 文化・歴史

### 新羅神社

式内社・信濃貴彦神社の論社の一つです。往古は燧の山頂に鎮座していましたが、1532-1535年(天文年間)に現在の場所に遷座しました。



### 妙泰寺

1294年(永仁2年)に日蓮の法孫・日像の開山による北陸屈指の名寺です。北国身延とも称せられ、日蓮宗では越前最古の寺とされています。



### 慈眼寺

小倉谷の東方山麓にある古刹。創建は1387年(嘉慶元年)で本尊として十一面観音菩薩を祀っています。「越藩古禅林」の額を掲げる苔むした山門に昔の面影を見ることができます。



### 白竜の滝公園

かつて出雲の国から反子船に乗った19人が糠浦に漂着した際、その船を守った竜が、山頂にある暖かい池で体を癒すために昇ったという伝説が残されています。



### 桜橋

#### (石造りアーチ橋)

春日野道(武生敦賀間を結ぶ車道)の開削に伴い、1886年(明治19年)に完成したこの近辺では珍しい石造りアーチ橋です。



### 芋ヶ平 蓮如上人旧跡

蓮如上人が越前まで逃れてきた時、土地の老婆が蓮如上人をかくまってくれたと言います。



### 下長谷の洞窟

甲楽城には「建武四年 後醍醐天皇の皇太子恒良をかくし奉る所 蕪木浦は此なり」と名勝記に記されている海食洞があり、神秘的な雰囲気を感じることができます。



### 特務艦関東 遭難園地

1924年(大正13年)12月12日、特務艦「関東」が激しい吹雪に見舞われ、糠浦合で座礁・破船しました。糠地区の女性たちは乗船していた将兵たちの救助活動を果敢に行いました。



### アカタン 砂防堰堤群

田倉川に注ぐ溪流の赤谷川に明治30年代に人の手によりつくられた石積みみの巨大な砂防堰堤群です。



### 昭和会館

1930年(昭和5年)に社会教育のために今庄の篤志家「田中和吉」翁が私財を投じて建てられました。1955年(昭和30年)から1974年(昭和49年)までは旧今庄町の役場として利用されています。



### 板取宿

1578年(天正6年)柴田勝家が北国街道を改修してから国境の宿場町として栄えました。越前国の入口として初代福井藩主結城秀康が関所を設け旅人を取り締まった重要な場所でした。現存する民家の中には甲(かぶと)造りという珍しい茅葺き屋根も見られます。



### 湯尾峠

1578年(天正6年)柴田勝家が北国街道を整備した際に改修が加えられ、現在の峠道になったといわれています。峠には疱瘡の神を祀る孫嫡子神社があり、峠の茶屋では厄除けのお守り札が配られています。松尾芭蕉も奥の細道の紀行で訪れ孫嫡子にまつわる句を残しています。



### 木ノ芽峠(北陸道)

木ノ芽峠(北陸道)は、1200年の間、越前の玄関口としての番所があり前川家その任に当たりました。この一帯は、一向一揆の頃の城跡が多く、度重なる古戦場として使われていた歴史があります。

